

大型クラゲの出現状況

(平成 24 年 9 月 21 現在)

平成 24 年 9 月 20 日、秋田県沖で今期初めて大型クラゲが確認されました。その状況は次のとおりです。

月 日 : 9 月 20 日

場 所 : 八峰町岩館沖、水深 108m 地点 (別紙、図 1)
(ロラン : 2S3-1779、40° 23.6N、139° 46.5E)

漁業種類 : 底びき網

個 体 数 : 2 個体

大 き さ : かなり大型

そ の 他 : 周囲の底びき網漁船には、大型クラゲは入網していない模様

9 月 20 日現在の中西部日本海の状況は次のとおりです。

- ・ 対馬の定置網では、9 月 13～14 日に連続して 100 個体を超える入網が確認されました。
- ・ 隠岐諸島沖で 9 月 13～16 日にかけて行われた底びき網の調査では、10～100 個体と、まとまった分布がみられます。
- ・ 能登半島を越えた海域でも底びき網に入網が確認されており、その個体数は 1～20 個体です。

資料 : (社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

隣県の山形県や新潟県では、まだ確認の報告がありませんが、日本海の広い範囲にわたって沖合海域を中心に大型クラゲが継続的に確認されています。今後の情報に十分ご注意ください。

担当 秋田県水産振興センター 資源部 高田
電話 0185-27-3003 Fax 0185-27-3004

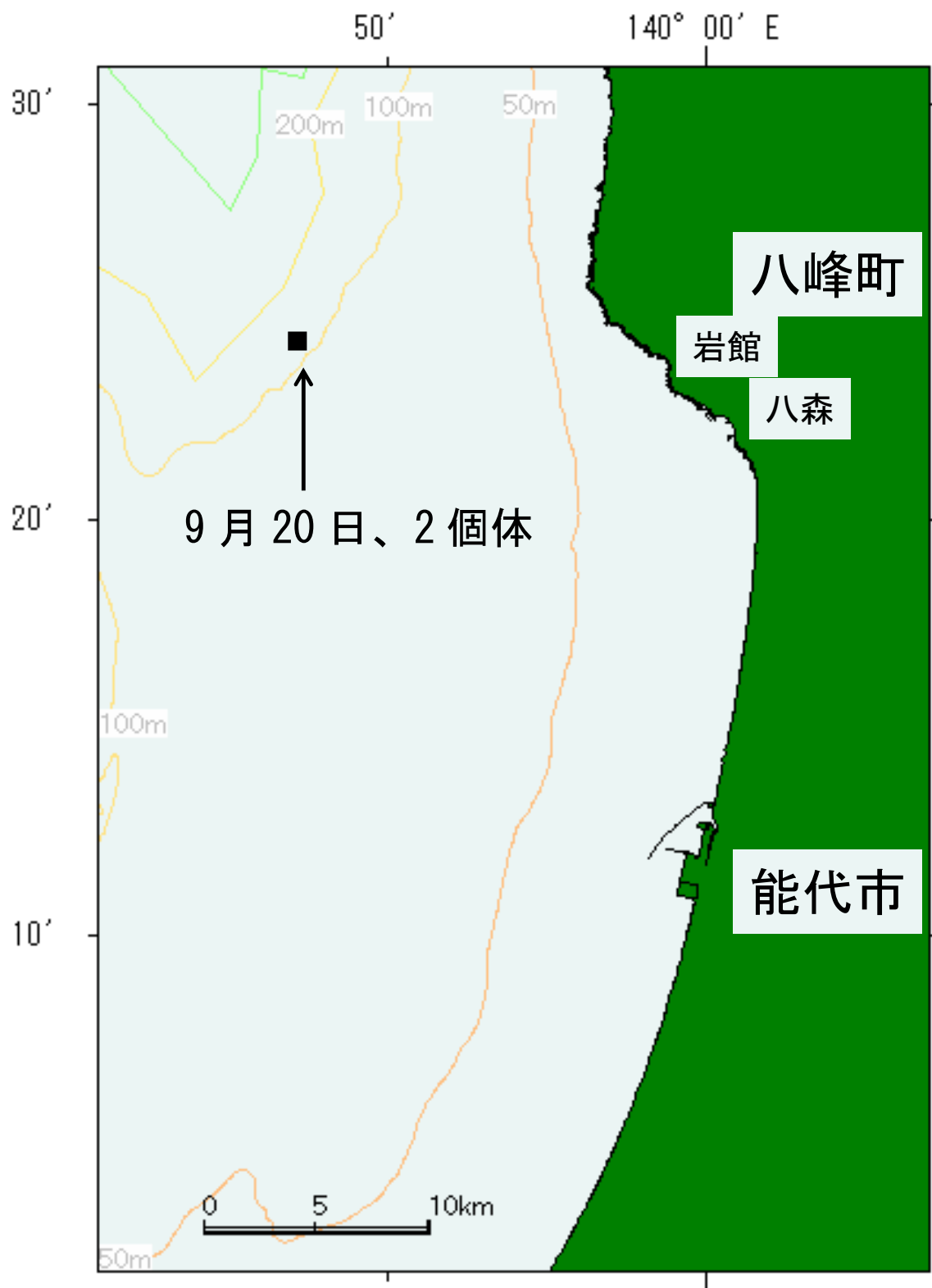


図1 大型クラゲが確認された場所(■)